2022（令和4）年度　事業計画書

2014年4月の設立から丸7年半が過ぎました。
ママコミュ！ドットコムは、子育て当事者の視点から「誰一人取り残さない」豊かな社会づくりをめざし、一人ひとりが自分らしい生き方、働き方を実現するための地域に根差した非営利活動に徹してきました。
この間、行政や公共団体、企業、団体等との協働の機会が増え、俯瞰的な視点から改めて団体の活動を振り返る機会があり、協働を通じて新たな発見や共感、多様で深い学びの機会に恵まれました。
昨年は東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、障がいのある人も含め、多様性を認め合い、共に豊かな生き方を選択することの大切さを実感しました。私共の活動においても、聴覚障がいのある子どもの命を守る防災プロジェクトなどの取り組みに注力した一年でした。
当団体の強みである機動力と発想力を生かした事業を軸に、多様な担い手との協働の深化と信頼関係の確立、組織基盤の安定に引き続き注力いたします。

2022（令和4）年4月

ママコミュ！ドットコム　団体概要
団体名　ママコミュ！ドットコム
代表者　出水　眞由美
設立　　2014（平成 26）年 4 月 1 日
種別　　非営利活動を行う任意団体（人格なき社団）

目的　　子育てはわが子を育てることだけにとどまらず、広く社会とつながるきっかけと位置づけ、子育てや子どもの成長に携わる人々が自らの経験やスキルを活かし、社会の全ての人が豊かさを実感できる未来のまちづくりに取り組む。
活動を通して「子育ての経験がプラスのキャリアとして認められる社会の実現」と「自分らしい生き方、働き方の実現」をめざす。

事業　　①多様なツールを活用したタイムリーな情報発信・共有のつながり作り、団体のプレゼンス向上
②子育て当事者の視点とネットワーク力を生かした自主事業の実施
③防災への意識啓発、災害時に役立つ人とのつながり作り
④多様な人々と共に社会課題の解決に取り組む場づくり
⑤持続可能な開発目標（SDGs）達成につながる場づくり

認定・受賞
①大阪府子育て世帯応援事務局　まいど子でもカード事業協賛団体（2014 年 12 月）
②大阪市天王寺区役所　地域課題解決担い手発掘事業（2015 年 8 月）
③大阪市市民活動推進事業団体（2016 年 3 月）
④天王寺区役所サポーター「テンサポ」（2017 年 3 月）
⑤近畿労働金庫「近畿ろうきん NPO アワード　はぐくみ賞」（2019 年 6 月）
⑥クリエイティブアウォード関西 2019-2020　ファイナリスト、第 3 位（2019 年 12 月）
⑦CSO アワード 2019　深堀り部門「ホープ」賞、「大阪ロータリークラブ賞」（2019 年 12 月）
⑧大阪商工信用金庫　「地域貢献感謝状」（2020 年 4 月）
⑨公益財団法人博報堂教育財団　第51回「博報賞」奨励賞（2020年 10 月）
⑩令和 4 年度大阪市キラッと輝く OSAKA 市民活動グランプリ【大阪市長賞】（2022 年 4 月）

1　多様なツールを通じた情報発信と情報共有のつながり作り

多様化する情報発信ツールの各特性を生かし、活動情報の発信とファン・支援者拡大に取り組みます。

(1)公式ホームページの運営　http://mamacomu.com/

(2)大阪府子育てメルマガ、大阪市子育てアプリ等と連動した関西一円への情報発信

(3)SNS を通じたファン拡大、子育て、防災コミュニティの充実

・フェイスブック　https://www.facebook.com/mamacomu

・インスタグラム　https://www.instagram.com/mamacomu

・ツイッター　https://twitter.com/mamacomu

・LINE 公式アカウント　https://lin.ee/oiZW1QH

2　子育て当事者の視点とネットワーク力を生かした自主事業の実施

(1)子ども、親子を対象にした学びと交流の場づくり(会場参集、オンライン、ハイブリッドなど工夫)

(2)ひとり親家庭、貧困家庭を支援する団体、活動への奉仕活動

(3)不登校、ひきこもり等、社会や人と一定の距離を持って生きる子ども、若者の支援と人材活用

(4)子育て環境、教育環境の調査研究

3　防災への意識啓発、災害時に役立つ人とのつながり作り

(1)「おやこ防災サロン」

親子、家族に対し、効果的にリーチする防災教育のスキーム構築。

行政、学校、PTA、企業との積極的な連携、協働によるブランドネームの訴求。

防災教育に特化したNPO法人として「特定非営利活動法人レジリエンス教育研究所」の運営に参画。

(2)「U15 のための防災カレッジ」などの防災教育

15 歳以下の子どもを対象とした防災教育、15 歳以上の若者を対象とした防災教育の2軸化。

区役所、地域団体、PTA、企業との積極的な連携、協働を通して事業対象者の確実な集約を図る。

防災専門機関、研究者との連携強化によるエビデンスの高い情報の収集と発信。

(3)被災地・被災者支援を通した防災への理解・共助の促進:随時

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害など

(4)大学等との連携による担い手育成

大阪公立大学、大阪教育大学、大阪商業大学、大阪経済大学との共同事業、インターン活用

大阪府立いちりつ高校、追手門学院大手前中学校との共同学習、防災訓練の立案

(5)防災教育の実績と専門性を生かした防災教材制作、防災監修:随時

子ども向け防災教材、ゲーム制作、外国語防災教材

企業、団体の防災訓練、避難訓練の監修、BCP(事業継続計画)策定

(6)防災教育に取り組む専門家との連携強化、新たな活動の基盤づくり:随時

防災教育に携わる専門家、研究者をはじめ、学生との協働により、新たな活動を生み出す組織づくりなど活動の基盤整備

4　社会課題・世界課題の解決に向けた多様な担い手との協働・連携

(1)子育て、女性の活躍支援、外国人支援、貧困家庭支援、まちづくりへの助言、協力、協働

・大阪市中央区フィランソロピー懇談会メンバーとしての活動

・関西 SDGsプラットフォーム　教育分科会「SDGs ナレッジラボ」メンバーとしての活動

・大阪を変える100人会議　第5期世話人としての活動(会員間協業・連携支援)

5　持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献(新規)

SDGsの 17 のゴールのうち、とくに次の5つについて事業ビジョンの中に明確に位置付けます。

4（質の高い教育をみんなに）、
10（人や国の不平等をなくそう）、
11（住み続けられるまちづくり）
13（気候変動に具体的な対策を）、
17（パートナーシップで目標を達成しよう）

6　団体のプレゼンス向上、信頼の獲得に資する広報活動（メディア出演等）

先進的、独創的な事業や企画コンペティションへの出場、テレビや新聞等の取材対応、番組制作協力など、団体のプレゼンス向上に積極的に取り組みます。

7　事業予算書（2022年4月1日～2023年3月31日）

●収入

費　目	金　額	備　考
民間助成金	1,500,000	公的機関、団体からの助成金
公的補助金	200,000	行政、政府からの補助金
協賛金	300,000	企業、団体からの協賛金
寄付金	20,000	個人からの寄付金
参加料	300,000	事業参加者からの参加料
その他収入	520,406	前期繰越金
合　計	2,840,406	

●支出

費　目		金　額		備　考
事業費			1,960,000	
	旅費交通費		50,000	出張旅費
	通信運搬費		60,000	広報物送料
	印刷製本費		600,000	広報物制作費
	消耗品費		400,000	事務用品、事業用備品購入費
	会議費		20,000	打合せ経費
	賃借料		300,000	会場借り上げ代
	保険料		20,000	行事保険料
	諸謝金		500,000	講師謝礼金
	新聞図書購入費		10,000	参考文献、図書購入費
人件費			400,000	インターン賃金
予備費			480,406	
合　計			2,840,406	

日本財団が運営する公益団体データベース CANPAN において団体情報を公開。
https://fields.canpan.info/organization/detail/1423815867